

平成26年度

# 決算の概要

(説明資料編)

長野市財政部



# 1. 一般会計／特別会計決算

1

26年度決算は、一般会計と全ての特別会計において「黒字」になりました。

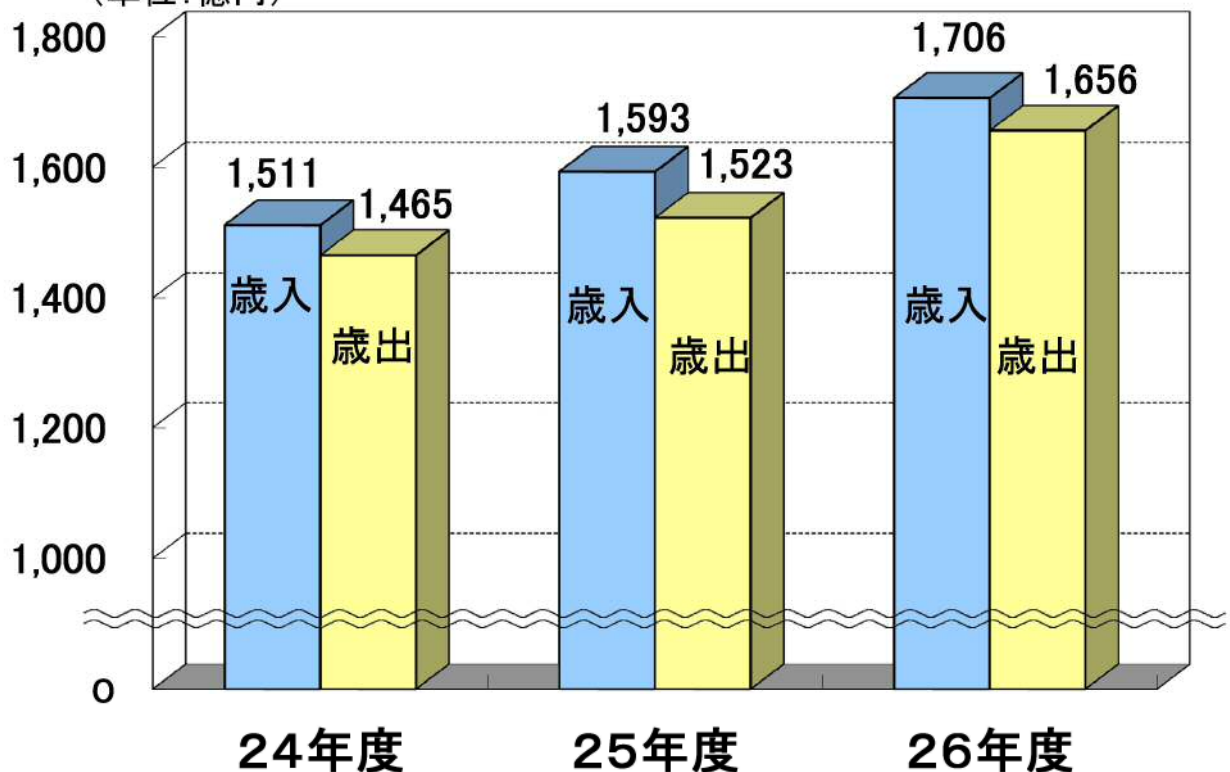
(単位:百万円)

	歳入総額 (A)	歳出総額 (B)	翌年度に繰 り越すべき 財源 (C)	実質収支 (A) - (B) - (C)
一般会計	170,584	165,596	3,137	1,851
特別会計	73,295	72,052	4	1,239

# 2. 一般会計 決算額の推移

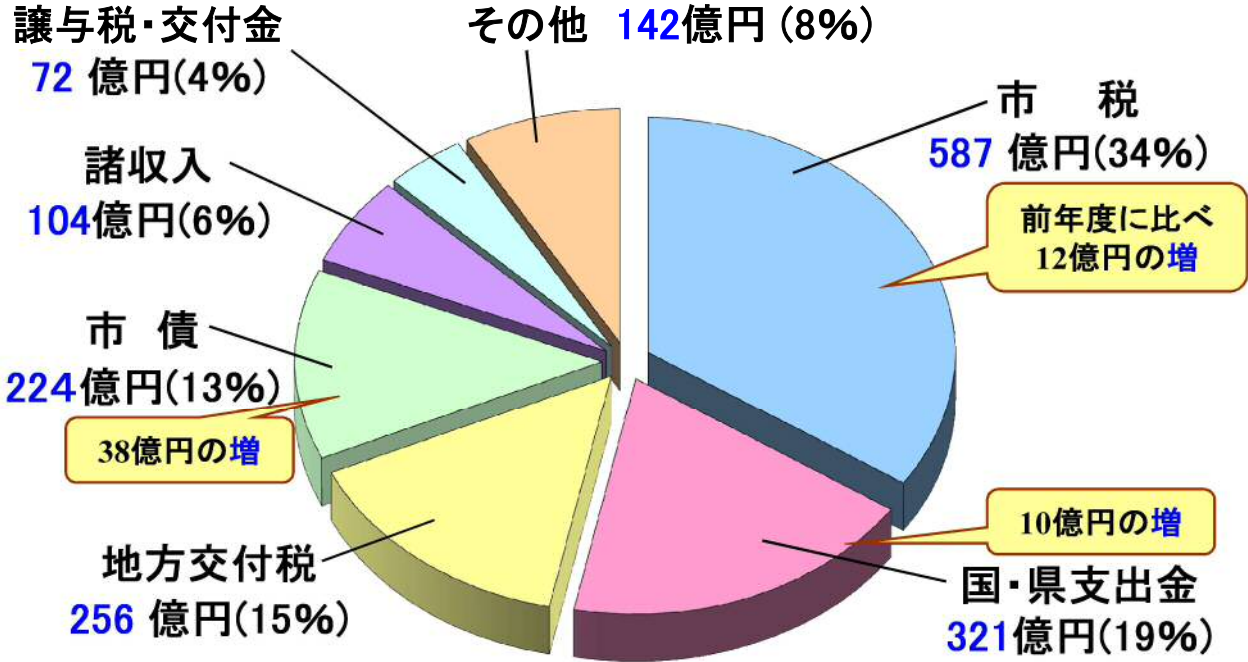
2

(単位:億円)



### 3. 一般会計 歳入の状況

歳入総額 1,706億円



※その他＝分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金  
 ※各項目で端数処理をしているため計数が合わない場合がある。 ※( )内は、構成比

### 4. 一般会計 歳入の状況(対前年度比)

(単位:百万円)

区 分	26年度	25年度	増減額	増減率
市 税	58,693	57,513	1,180	2%
譲与税・交付金	7,182	6,582	600	9%
地方交付税	25,624	25,552	72	0%
国・県支出金	32,078	31,112	966	3%
市 債	22,441	18,615	3,826	21%
諸 収 入	10,371	8,219	2,152	26%
そ の 他	14,195	11,717	2,478	21%
合 計	170,584	159,310	11,274	7%

※各項目で端数処理をしているため計数が合わない場合がある。

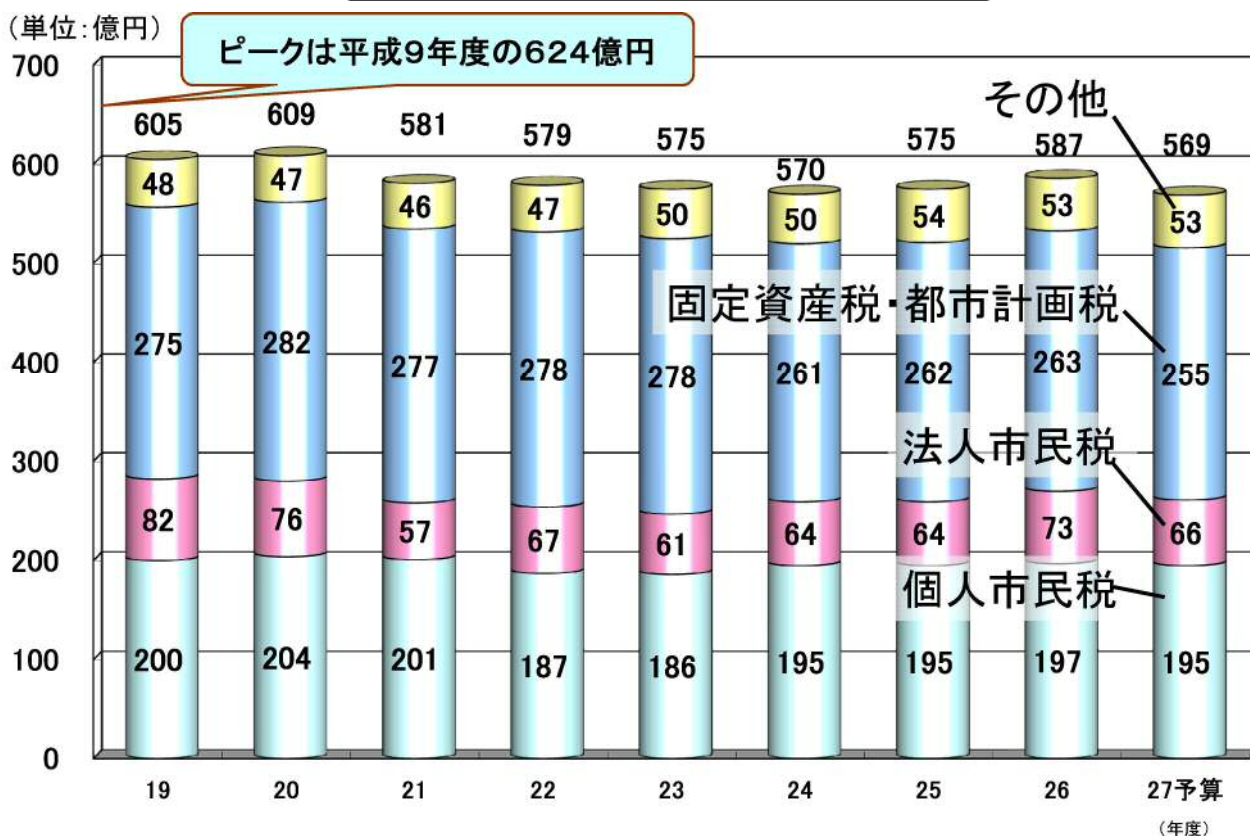
## 5. 一般会計 歳入の主な増減内容

5

- 市 税
  - 個人市民税 + 2.7億円
  - 法人市民税 + 8.5億円
  - 固定資産税・都市計画税 + 1億円
- 地方消費税交付金 + 8.2億円
- 地方交付税 + 0.7億円
- 国県支出金
  - 社会資本整備総合交付金 + 18.3億円
  - 臨時福祉給付金等国庫補助金 + 12.2億
  - オリンピック施設起債償還等補助金 ▲ 4.4億円
  - 学校施設環境改善交付金 ▲ 8.1億円
- 市 債
  - 市民会館管理施設整備事業債等 + 21.1億円
  - 公園整備事業債 + 17.3億円
  - 斎場施設整備債 + 17.1億円
  - 街路整備事業債 + 5.3億円
- 諸 収 入
  - 消防救急無線デジタル化整備負担金 + 20億円

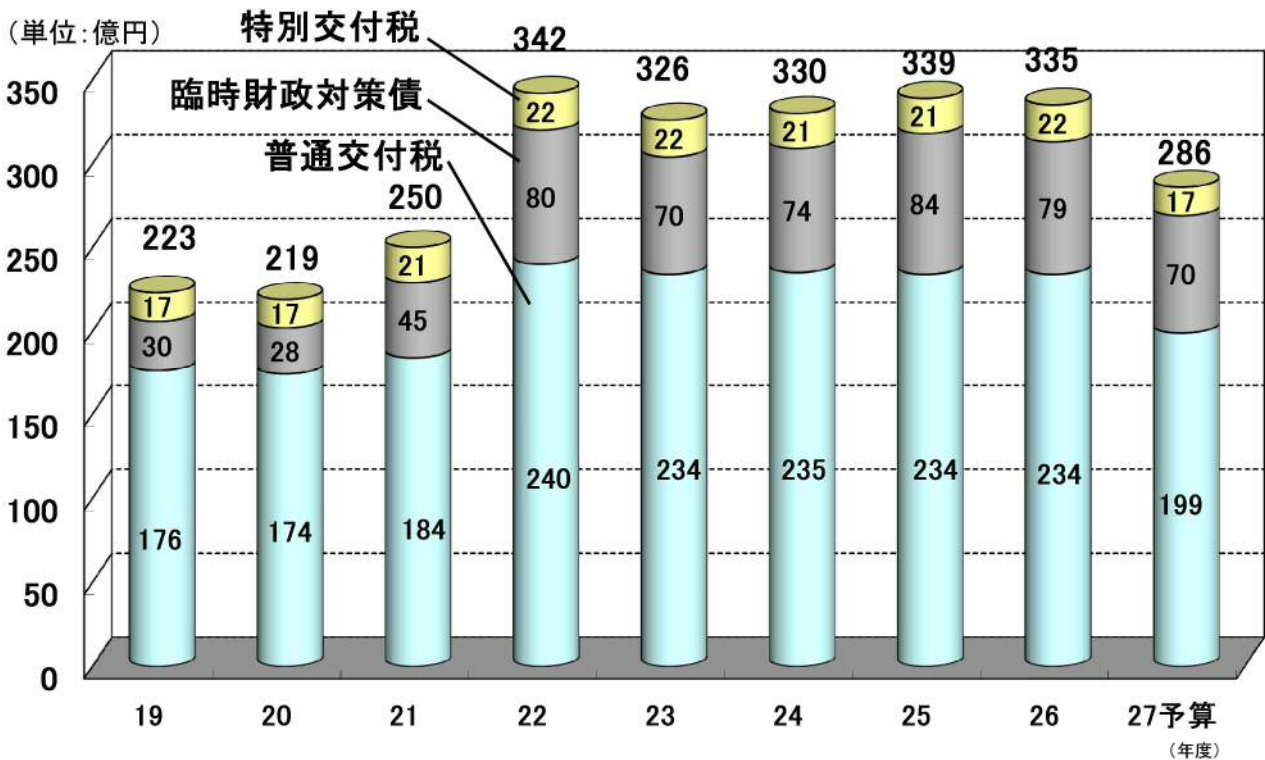
## 6. 市 税 の 推 移

6



## 7. 地方交付税及び臨時財政対策債推移

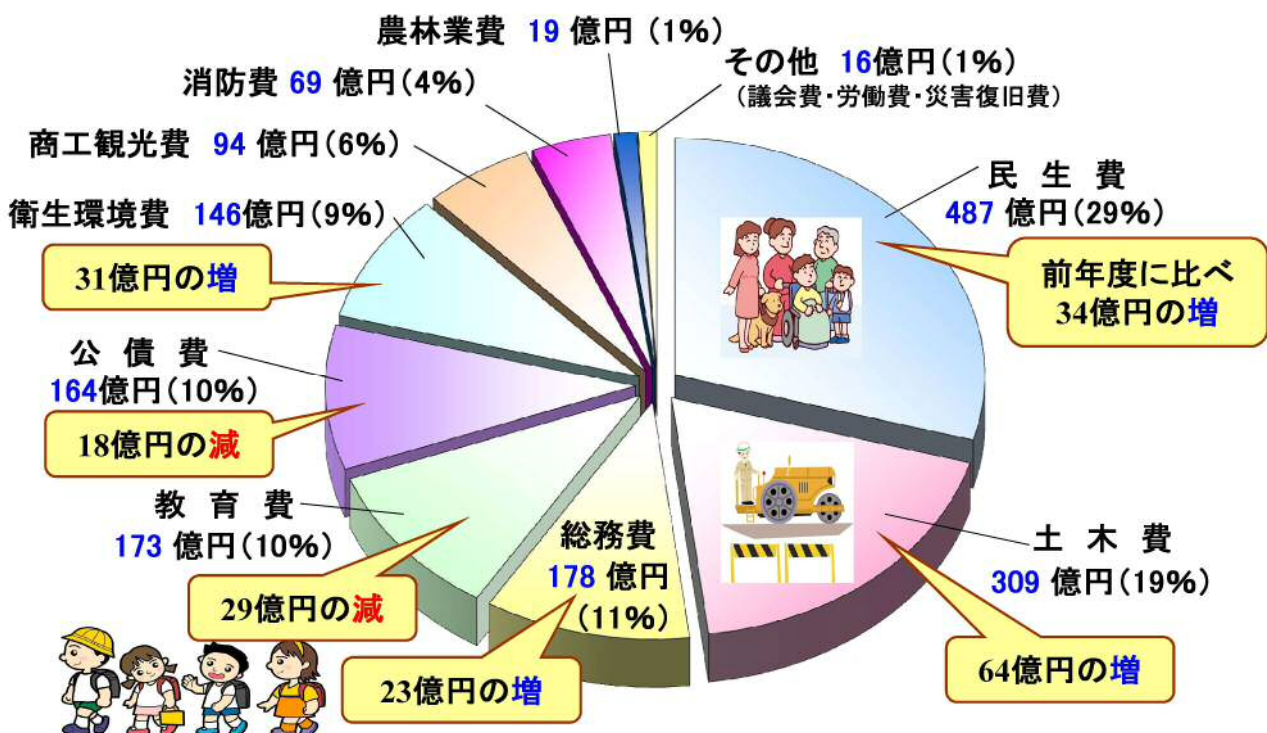
7



## 8. 一般会計 歳出(目的別)の状況

8

歳出総額 **1,656 億円**



## 9. 一般会計 歳出(性質別)の状況(対前年度比) 9

(単位:百万円)

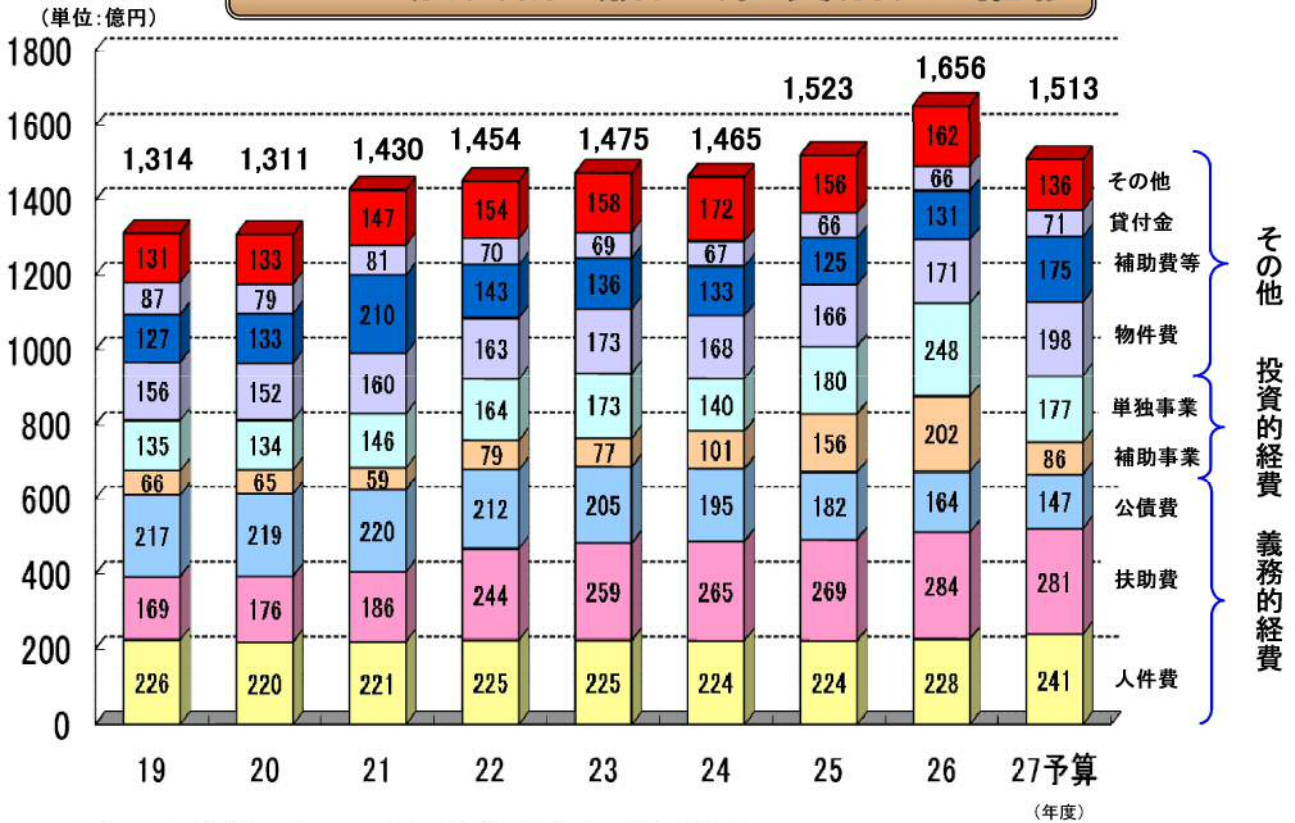
性質別経費区分		26年度	25年度	増減額	増減率
義務的	人件費	22,836	22,353	483	2%
	扶助費	28,444	26,882	1,562	6%
	公債費	16,387	18,153	▲1,766	▲10%
	<b>義務的経費計</b>	<b>67,667</b>	<b>67,387</b>	<b>280</b>	<b>0%</b>
投資的	補助事業	20,183	15,581	4,602	30%
	単独事業	24,803	18,044	6,759	37%
	<b>投資的経費計</b>	<b>44,986</b>	<b>33,625</b>	<b>11,361</b>	<b>34%</b>
その他経費		52,943	51,247	1,697	3%
<b>歳出合計</b>		<b>165,596</b>	<b>152,259</b>	<b>13,337</b>	<b>9%</b>

※各項目で端数処理をしているため計数が合わない場合がある。

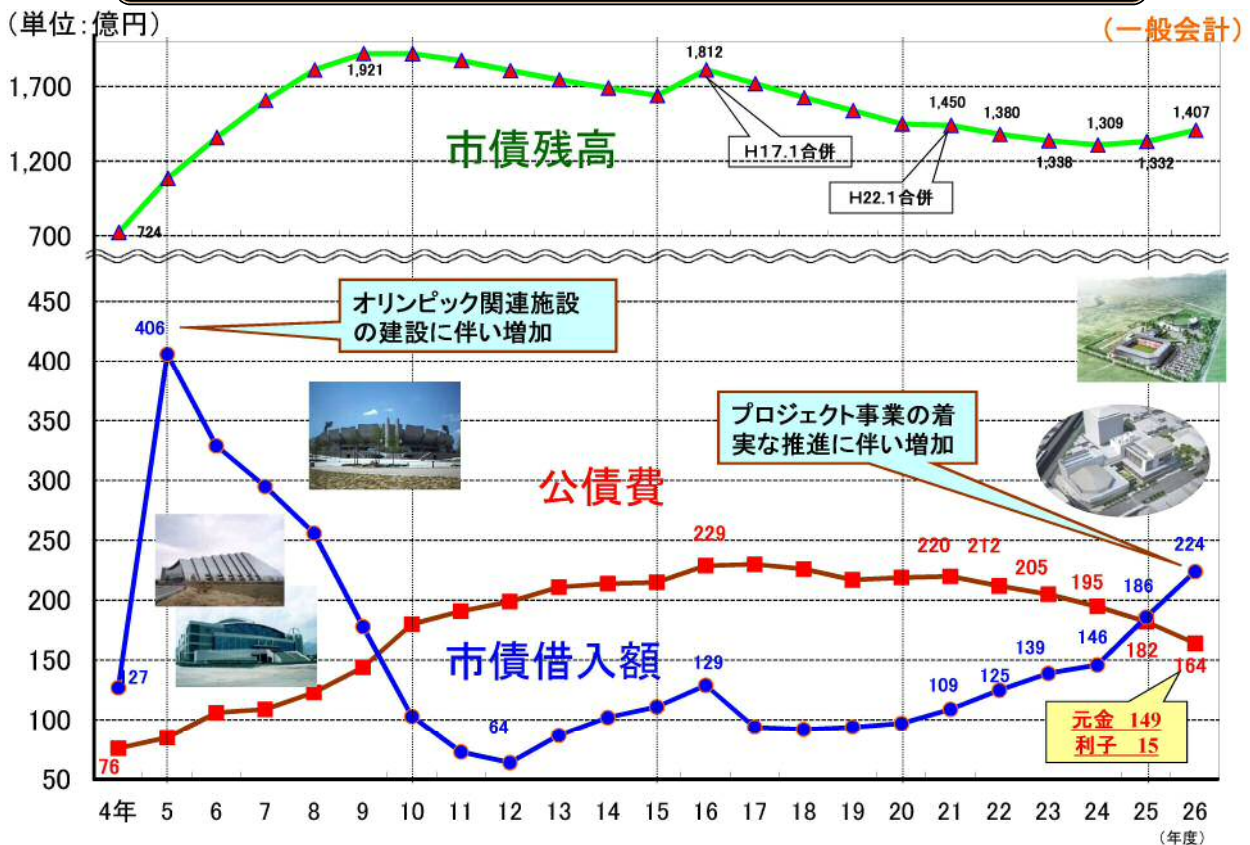
## 10. 一般会計 歳出の主な増減内容 10

- 人件費
  - ➡ 一般職給料 + 2.4億円、期末勤勉手当 + 1.3億円
  - ➡ 職員退職金 ▲ 1.7億円
- 扶助費
  - ➡ 臨時福祉給付金等 + 11.8億円
  - ➡ 障害者(児)介護給付費・訓練等給付費 + 2.7億円
- 公債費
  - ➡ 市債元利償還金 ▲ 17.7億円
- 投資的経費
  - ➡ (補)南長野運動公園総合球技場整備事業 + 51.6億円
  - ➡ (補)長野駅善光寺口駅前広場整備事業 + 21.7億円
  - ➡ (単)第一庁舎・長野市民会館建設事業 + 23.6億円
  - ➡ (単)消防救急無線デジタル化整備事業 + 21.4億円
  - ➡ (単)斎場新設事業 + 17.7億円
- その他経費
  - ➡ 水痘及び高齢者肺炎球菌等の定期接種 + 3.9億円
  - ➡ 道路除雪費 + 4.1億円

# 11. 一般会計 歳出(性質別)の推移



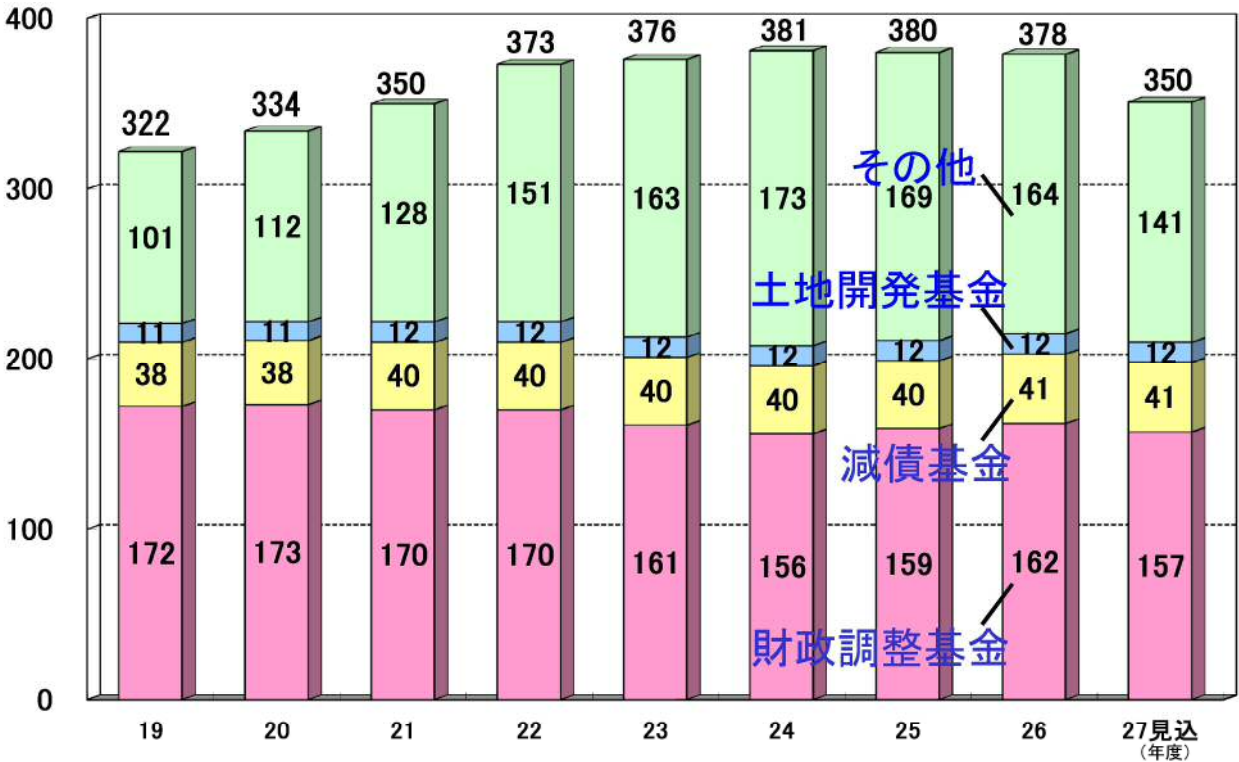
# 12. 公債費及び市債借入・残高の推移



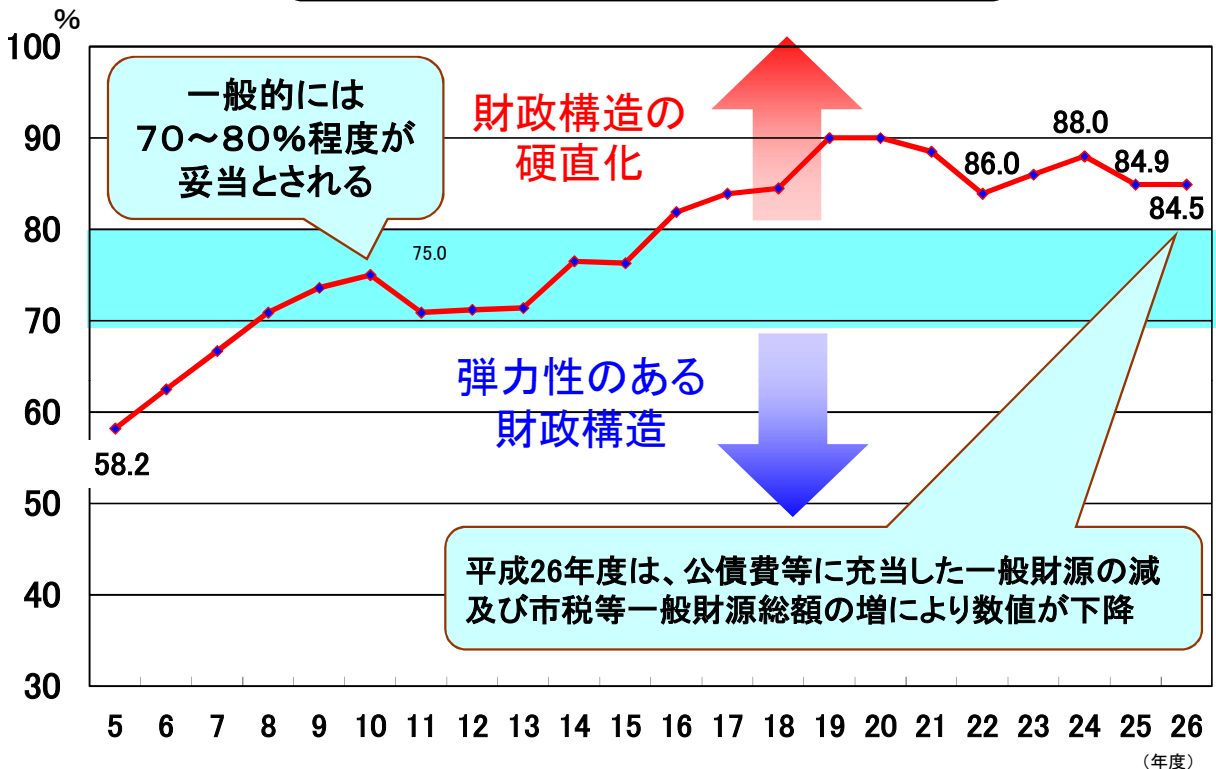


# 13. 基金残高の推移

(単位: 億円)

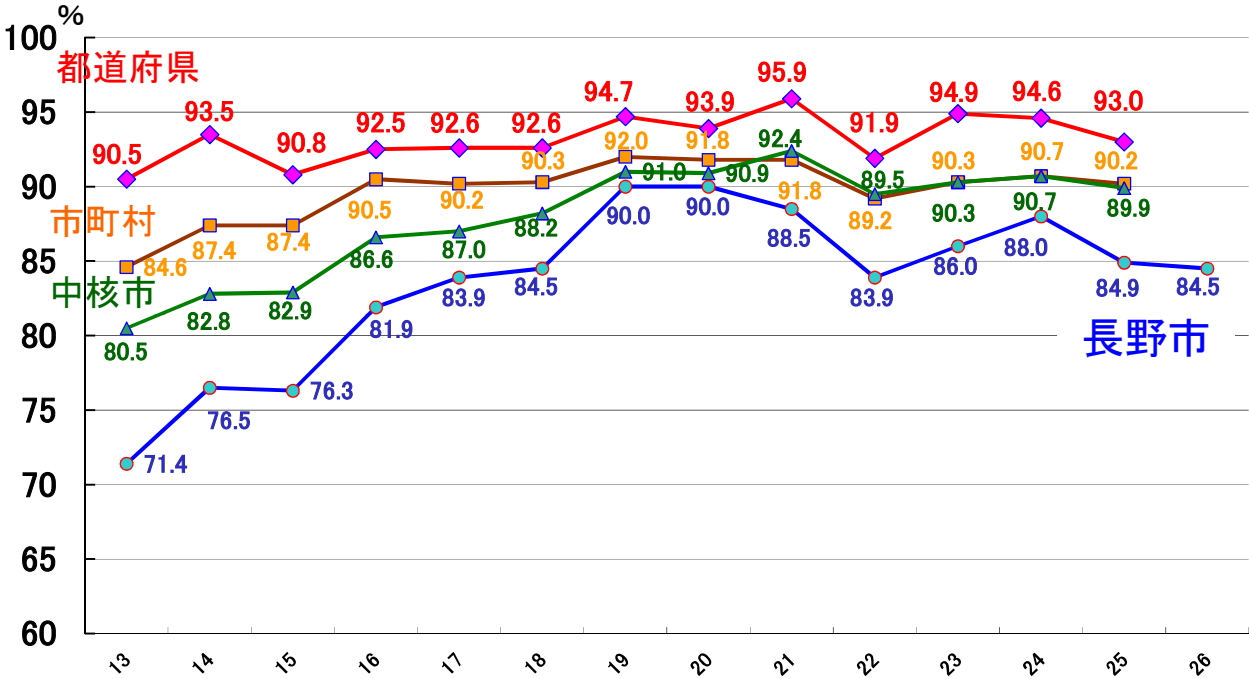


# 14. 経常収支比率の推移



※経常収支比率とは、市税や地方交付税などの経常的な財源が、人件費や公債費など義務的な経費や経常的な経費にどれだけ使われているかを示す割合です。

# 15. 経常収支比率の状況



※長野市以外は、総務省「地方財政の状況」から抜粋

(年度)

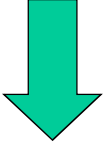
# 16. 経常収支比率前年度比較

○分子減の要因：扶助費、物件費、人件費の増 + 19億円  
公債費等の減 ▲ 13億円

**経常費充当経常一般財源**

人件費、扶助費、公債費、物件費、繰出金  
など

分子 6億円増



× 100 = 84.5% ▲ 0.4

**経常一般財源総額**

市税、地方譲与税・交付金、普通交付税、臨時財政対策債  
など

分母 12億円増



○分母増の要因：市税、地方消費税交付金等の増